

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年4月20日(2006.4.20)

【公表番号】特表2005-538692(P2005-538692A)

【公表日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【年通号数】公開・登録公報2005-050

【出願番号】特願2003-578392(P2003-578392)

【国際特許分類】

<b>C 1 2 N</b>	<b>15/09</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>A 6 1 K</b>	<b>31/7088</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>A 6 1 K</b>	<b>39/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>A 6 1 K</b>	<b>39/395</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>A 6 1 K</b>	<b>45/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>A 6 1 K</b>	<b>48/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>A 6 1 P</b>	<b>35/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 0 7 K</b>	<b>14/82</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 0 7 K</b>	<b>16/32</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 1 2 M</b>	<b>1/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 1 2 M</b>	<b>1/34</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 1 2 N</b>	<b>1/15</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 1 2 N</b>	<b>1/19</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 1 2 N</b>	<b>1/21</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 1 2 Q</b>	<b>1/02</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 1 2 Q</b>	<b>1/68</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 0 1 N</b>	<b>33/15</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 0 1 N</b>	<b>33/50</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 1 2 N</b>	<b>5/10</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 K	39/395	E
A 6 1 K	39/395	T
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	35/00	
C 0 7 K	14/82	
C 0 7 K	16/32	
C 1 2 M	1/00	A
C 1 2 M	1/34	B
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 Q	1/02	
C 1 2 Q	1/68	A
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
C 1 2 N	5/00	A
C 1 2 N	15/00	F

## 【手続補正書】

【提出日】平成18年3月6日(2006.3.6)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表1に概説された配列からなる群から選択されたヌクレオチド配列を含む、組換え核酸。

【請求項2】

請求項1に記載の組換え核酸を含む、宿主細胞。

【請求項3】

請求項2に記載の組換え核酸を含む、発現ベクター。

【請求項4】

請求項3に記載の発現ベクターを含む、宿主細胞。

【請求項5】

表1に概説された配列からなる群から選択された配列を含む、核酸配列によりコードされたアミノ酸配列を含む、組換えタンパク質。

【請求項6】

薬剤候補をスクリーニングするインビトロでの方法であって、該方法は、以下：

a) 表1に概説された配列またはそのフラグメントからなる群より選択された核酸配列を含む、癌関連性(CA)遺伝子を発現する細胞を提供する工程；

b) 薬剤候補を該細胞に添加する工程；および

c) 該CA遺伝子の発現における該薬剤候補の効果を決定する工程、  
を包含する、方法。

【請求項7】

前記決定する工程は、前記薬剤候補の非存在下における発現レベルと、該薬剤候補の存在下における発現レベルの比較を包含する、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

CAタンパク質(CAP)に結合し得る生物活性因子をスクリーニングする方法であって、該CAPは、表1に概説された配列からなる群より選択された核酸配列を含む核酸によりコードされ、該方法は、以下：

a) 該CAPおよび候補生物活性因子を合わせる工程；および

b) 該候補因子と該CAPとの結合を決定する工程、  
を包含する、方法。

【請求項9】

CAタンパク質(CAP)の活性を調節し得る生物活性因子をスクリーニングするための方法であって、該CAPは、表1に概説された配列からなる群から選択された核酸配列を含む核酸によりコードされ、該方法は、以下：

a) 該CAPおよび候補生物活性因子を合わせる工程；および

b) 該CAPの該生物活性における該候補因子の効果を決定する工程、  
を包含する、方法。

【請求項10】

候補癌薬剤の効果の評価を補助する方法であって、該方法は、以下：

該候補薬剤が投与された患者から得られた細胞サンプルにおいて、表1に概説された配列からなる群より選択された核酸配列を含む、遺伝子の発現または活性の変化を決定する工程、  
を包含する、方法。

## 【請求項 1 1】

癌腫を分析するためのデータを集める方法であって、該方法は、以下：

a) 第 1 の個体から得られた第 1 の組織型における、表 1 に概説された配列からなる群より選択された核酸配列を含む、一つ以上の遺伝子の発現を決定する工程；および

b) 該遺伝子の発現と該第 1 の個体から得られた第 2 の正常な組織型または第 2 の罹患していない個体から得られた第 2 の正常な組織型とを比較する工程；

を包含し、該発現の相違は、該第 1 の個体は癌腫を有することを表す、方法。

## 【請求項 1 2】

C A タンパク質 ( C A P ) の活性を阻害するための組成物であって、該 C A P は、表 1 に概説された配列からなる群より選択された核酸配列を含む核酸によりコードされ、該 C A P に対する阻害因子を含有する、組成物。

## 【請求項 1 3】

C A タンパク質 ( C A P ) の阻害因子を含有する、癌腫を処置するための組成物であって、該 C A P は、表 1 に概説された配列からなる群から選択された核酸配列を含む核酸によってコードされる、組成物。

## 【請求項 1 4】

C A タンパク質 ( C A P ) の効果を中和するための組成物であって、該 C A P は、表 1 に概説された配列からなる群から選択された核酸配列を含む核酸によりコードされ、中和をもたらすのに十分な量の該 C A P タンパク質に特異的な因子を含有する、組成物。

## 【請求項 1 5】

表 1 に概説された配列からなる群から選択された核酸配列を含む核酸によりコードされたタンパク質と特異的に結合するポリペプチド。

## 【請求項 1 6】

表 1 に概説された配列からなる群より選択された核酸配列を含む核酸によりコードされたタンパク質と特異的に結合する抗体を含む、請求項 1 5 に記載のポリペプチド。

## 【請求項 1 7】

表 1 に概説された配列またはそれらのフラグメントの核酸からなる群より選択された、一つ以上の核酸セグメントを含む、バイオチップ。

## 【請求項 1 8】

個体の少なくとも一つの C A 遺伝子を配列決定することにより、癌腫または癌腫の性質を分析するためのデータを集める方法。

## 【請求項 1 9】

ハイブリダイゼーションに適した条件下で、個体に由来するゲノム D N A サンプルに C A 遺伝子プローブを添加する工程を包含する、C A 遺伝子コピー数を決定する方法。